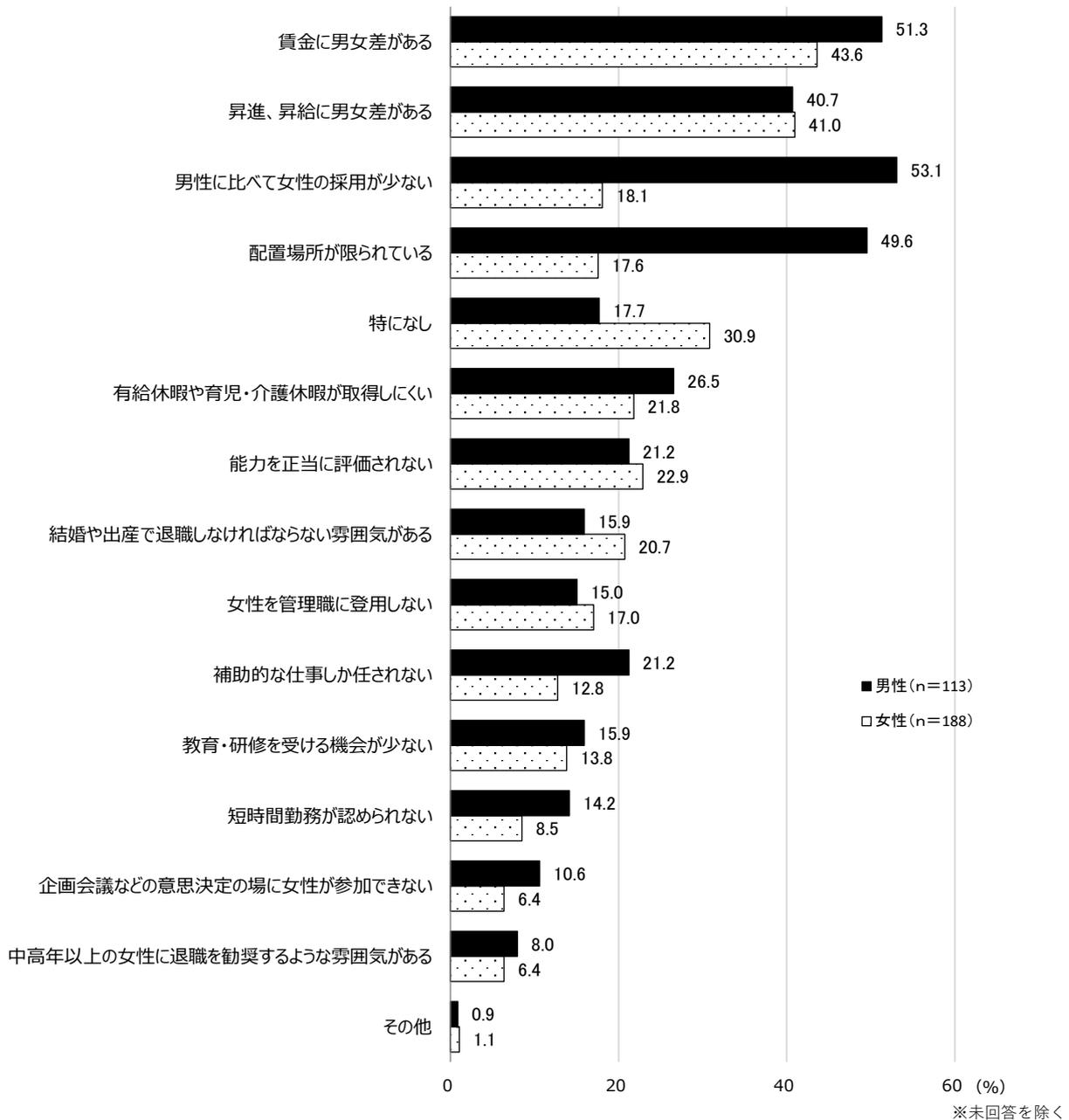


## 4 仕事について

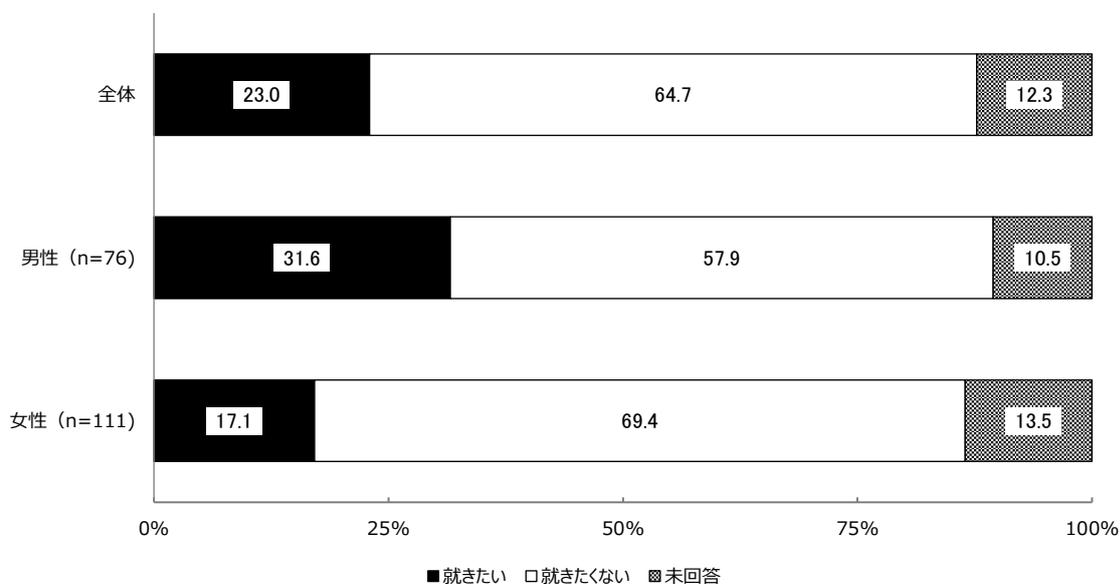
**【問15】** 職業に就いている方、また過去に就いていた方にお聞きします。あなたの職場では仕事の内容や待遇面で、女性に対して、次のようなことがありますか（ありましたか）。当てはまる番号をいくつでも枠の中に記入してください。



職場の業務内容・待遇面等で、女性に対してあること又はあったことを聞いたところ、「賃金に男女差がある」「昇進、昇給に男女差がある」「男性に比べて女性の採用が少ない」が上位を占めた。

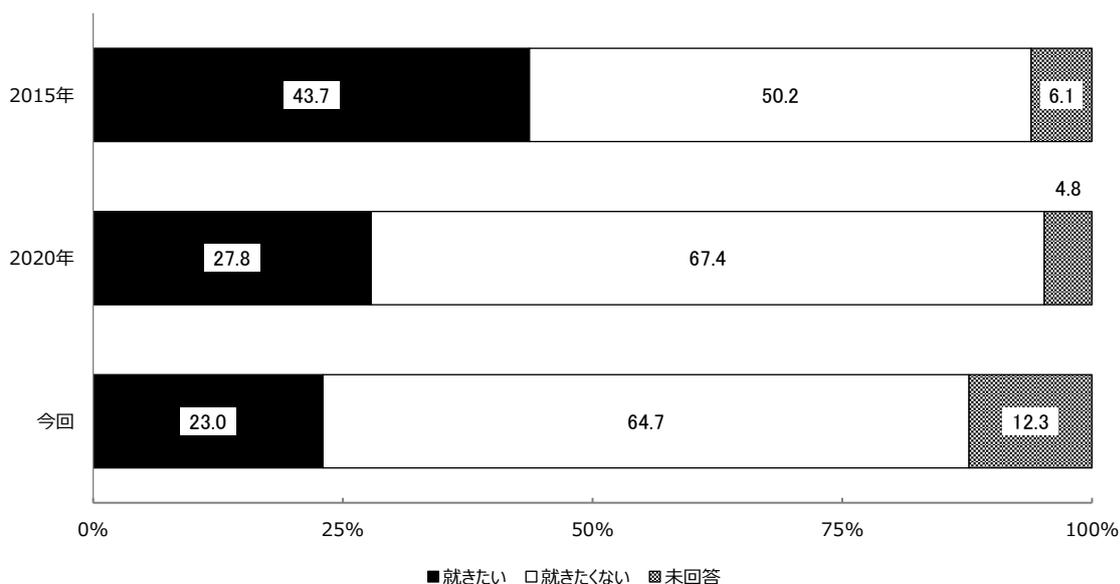
性別でみると、男性は「男性に比べて女性の採用が少ない」「賃金に男女差がある」「配置場所が限られている」が上位を占めており、女性は「賃金に男女差がある」「昇進、昇給に男女差がある」が上位を占めている。

**【問16】** 職業に就いている方にお聞きします。あなたは、責任ある役職に就きたいですか。  
当てはまる番号を枠の中に記入してください。



責任ある役職に就きたいか聞いたところ、男性の31.6%は「就きたい」と回答したが、女性は17.1%に留まっており、男性と比べ14.5ポイント低くなっている。

▶ 過去の調査との比較



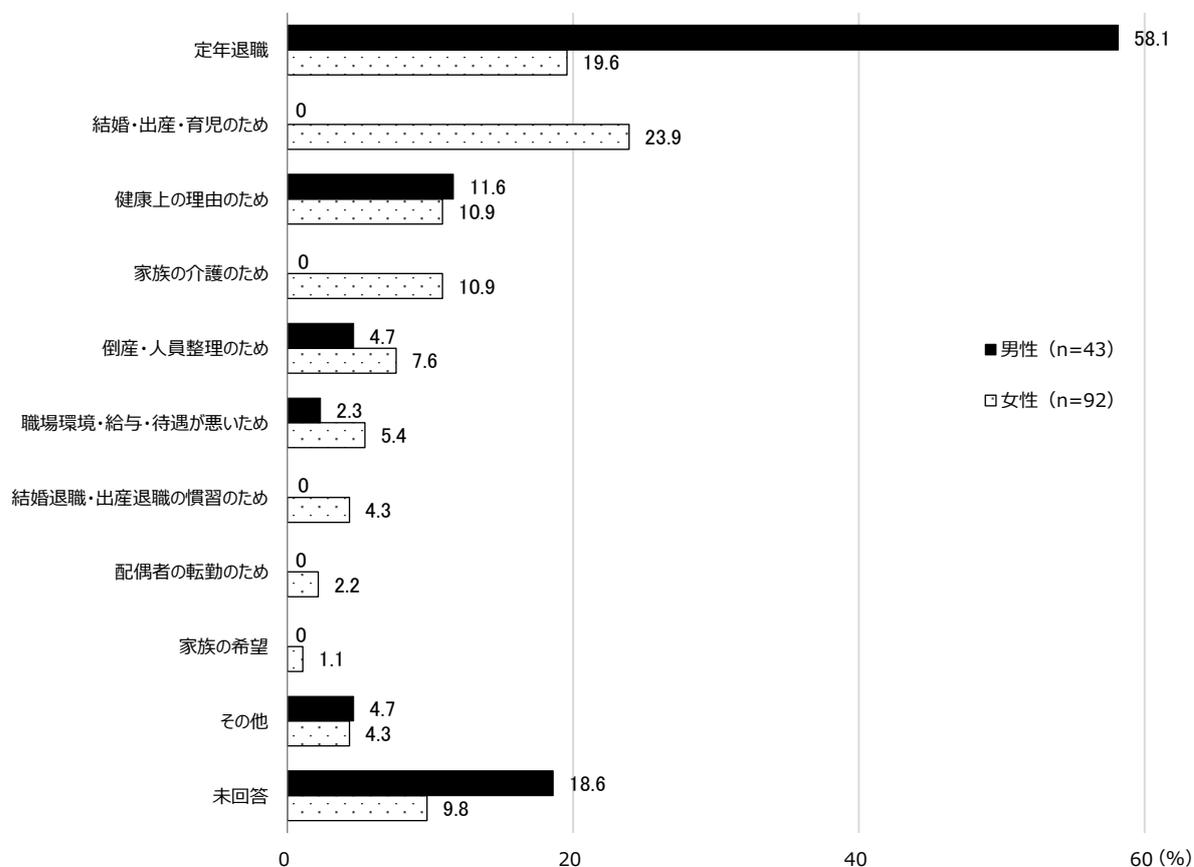
過去の調査と比較したところ、「就きたい」と回答した割合は前回より4.8ポイント減少し、23.0%となっている。

**【問17】** 【問3】で、「4. 専業主婦・専業主夫」、「6. 無職」とお答えされた方にお聞きします。以前、仕事をしていたことがありますか。当てはまる番号を枠の中に記入してください。

	ある	ない	未回答
女性	88.2%	1.1%	10.8%
男性	79.5%	2.3%	18.2%
全体	85.4%	1.5%	13.1%

【問3】で「専業主婦・専業主夫」、「無職」と回答したうち、女性は88.2%、男性は79.5%が過去に就業経験があった。

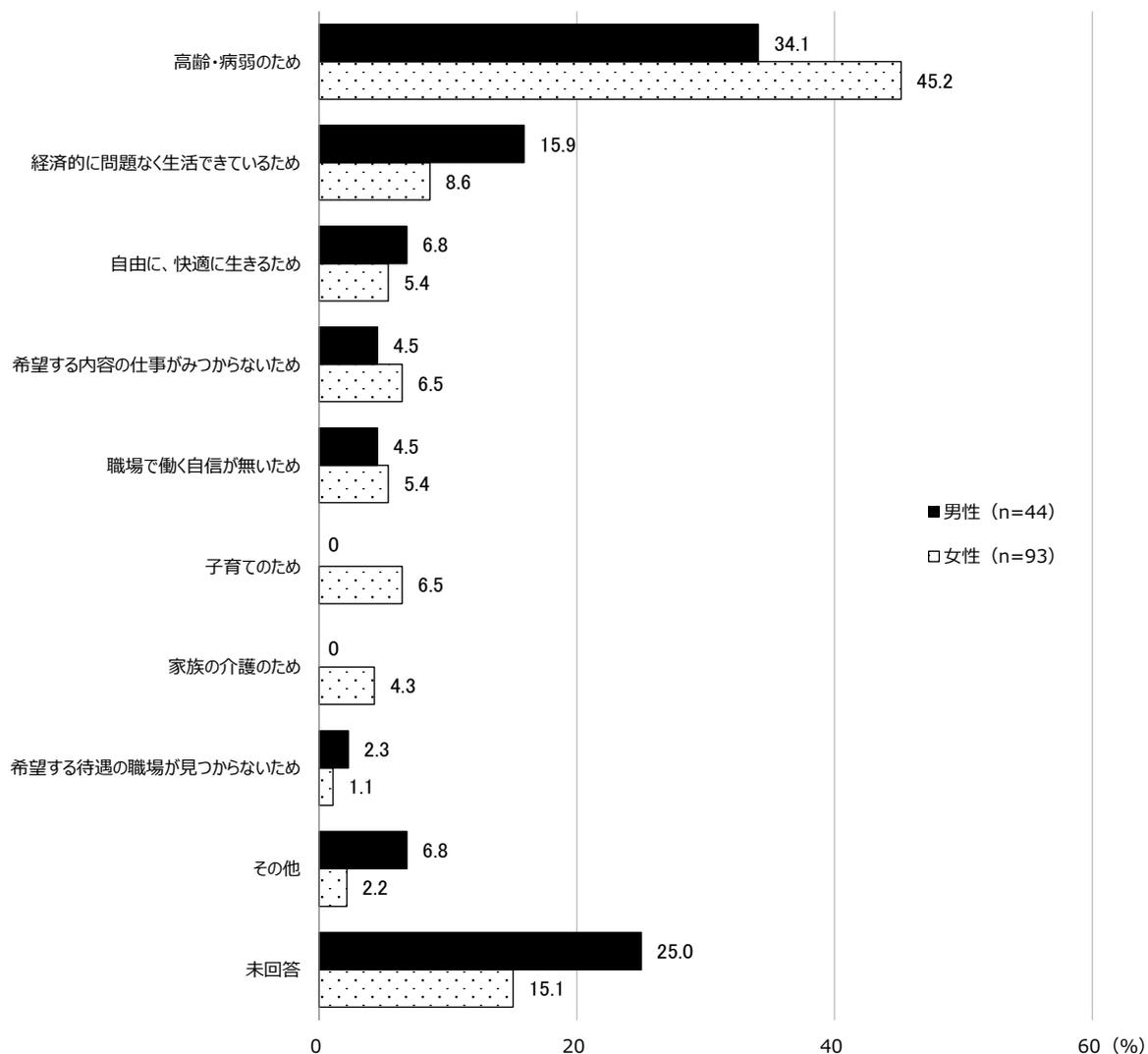
**【問18】** 【問17】で、「1. ある」とお答えされた方にお聞きします。仕事をやめた理由は何か。当てはまる番号を1つだけ枠の中に記入してください。



仕事を辞めた理由について聞いたところ、男性で最も多いものは「定年退職」(58.1%)、女性は「結婚・出産・育児のため」(23.9%)となっている。

そのほか、女性は「定年退職」(19.6%)、「健康上の理由のため」(10.9%)、「家族の介護のため」(10.9%)が多くなっている。

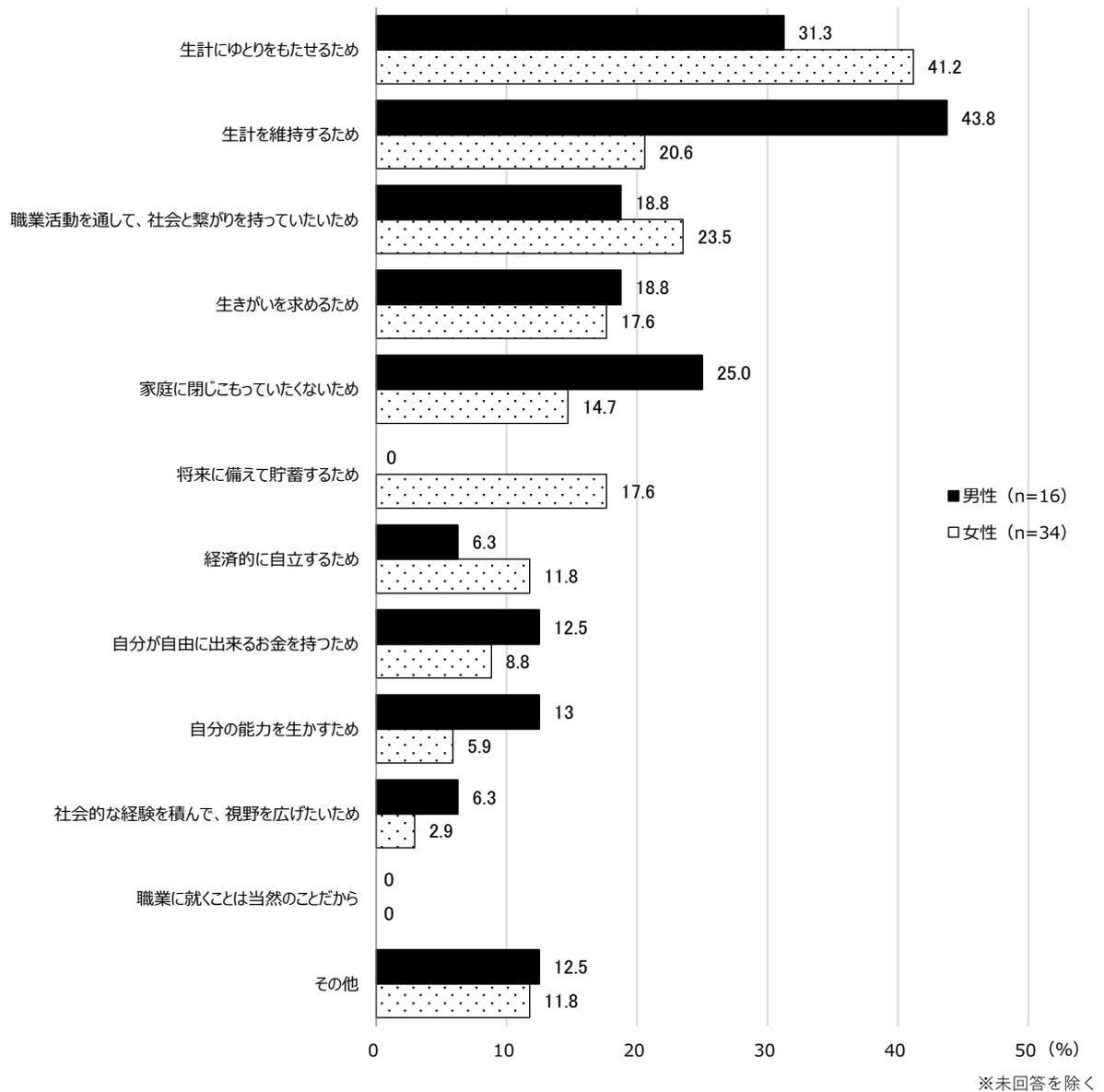
**【問19】** 【問3】で、「4. 専業主婦・専業主夫」、「6. 無職」とお答えされた方にお聞きします。今、仕事をしていない理由は何ですか。次の中から、最も近い番号を1つだけ枠の中に記入してください。



今、仕事をしていない理由を聞いたところ、男女ともに「高齢・病弱のため」が男性34.1%、女性45.2%と最も高く、次いで「経済的に問題なく生活できているため」が男性15.9%、女性は8.6%となっている。

なお、「子育てのため」「家族の介護のため」と回答したのは女性のみであった。

**【問20】** 【問3】で、「4. 専業主婦・専業主夫」、「6. 無職」とお答えされた方で、今後就職を希望している方にお聞きます。就職を希望する理由は何ですか。次の中から、近い番号を2つまで枠の中に記入してください。

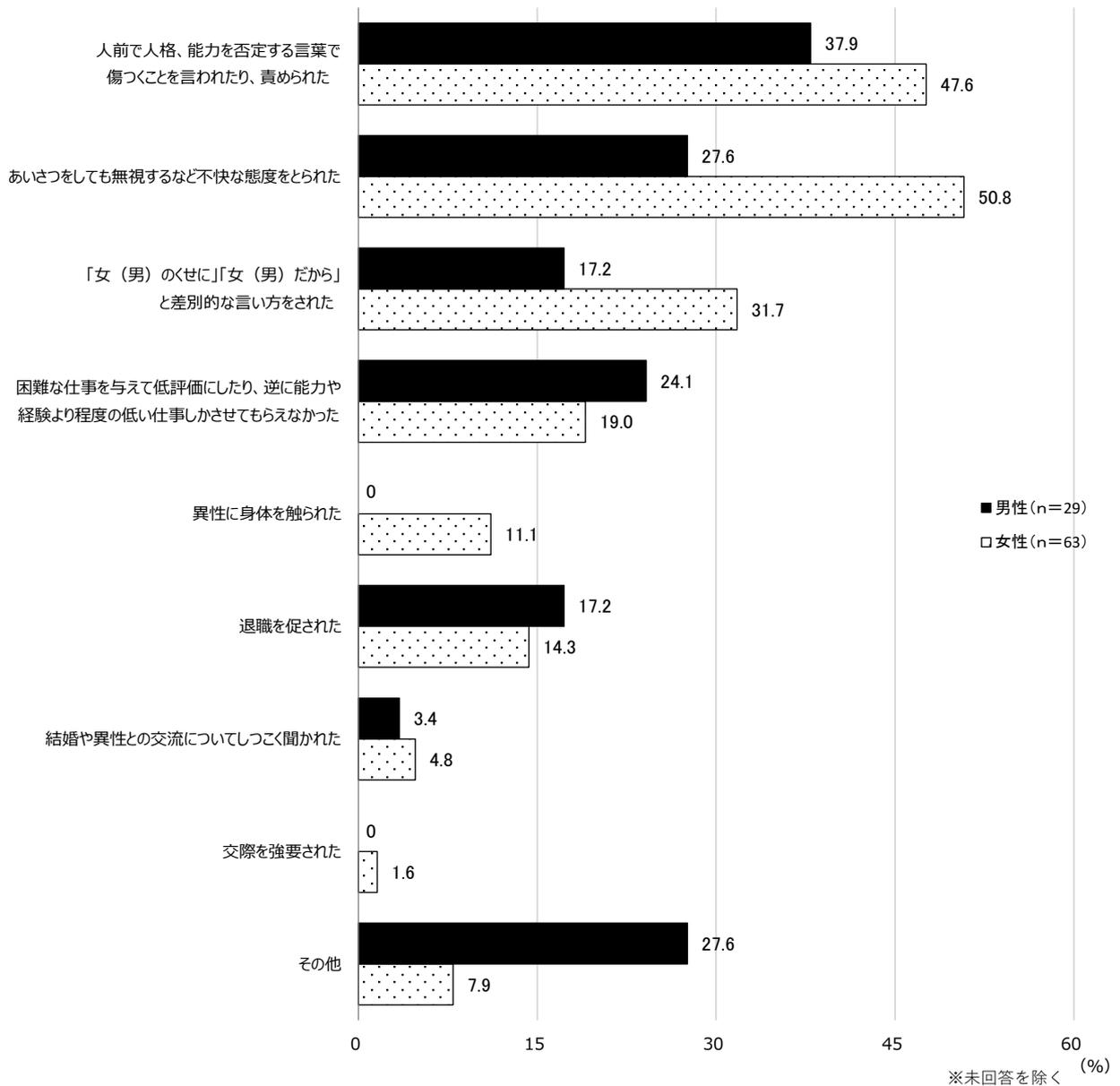


今後就職を希望する理由を聞いたところ、全体では「生計にゆとりをもたせるため」「生計を維持するため」「職業活動を通して、社会と繋がりを持っていたいため」が上位となった。

男性は「生計を維持するため」が43.8%と最も高く、次いで「生計にゆとりをもたせるため」31.3%、「家庭に閉じこもってたくないため」が25.0%となっている。

女性は「生計にゆとりをもたせるため」が41.2%と最も高く、次いで「職業活動を通して、社会と繋がりを持っていたいため」が23.5%、「生計を維持するため」が20.6%となっている。

**【問21】** ここ5年間に職場や日常生活において、不愉快な経験（ハラスメント）がありましたか。当てはまる番号をいくつでも枠の中に記入してください。



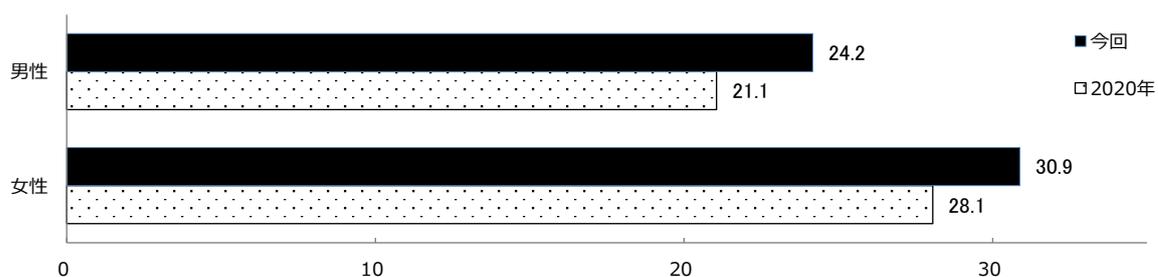
職場や日常生活における不愉快な経験（ハラスメント）について聞いたところ、男性の75.8%、女性の69.1%が「特になし」「未回答」と回答した。

全体で見ると、「人前での人格、能力を否定する言葉で傷つくことを言われたり、責められた」「あいさつをしても無視するなど不快な態度をとられた」が上位となっている。

男性は「人前での人格、能力を否定する言葉で傷つくことを言われたり、責められた」が37.9%で最も高く、次いで「あいさつをしても無視するなど不快な態度をとられた」27.6%であった。

女性は「あいさつをしても無視するなど不快な態度をとられた」が50.8%で最も高く、次いで「人前での人格、能力を否定する言葉で傷つくことを言われたり、責められた」が47.6%であった。

▶職場や日常生活におけるハラスメントを受けたことのある割合について前回の調査との比較



前回と比べ、ハラスメントを受けたことがあると回答した割合は、男性は3.1ポイント、女性は2.8ポイント増加している。

### ハラスメント

ハラスメント/Harassmentは、他者に対する発言や行動など本人の意図と関係なく、相手を不快にさせたり、尊厳を傷つけたり、不利益や脅威を与えることを指します。

- ・ パワハラ（パワーハラスメント）・・・職場などにおいて自身の優位的・優越的立場から、業務の範囲を超えて、相手に精神的・身体的苦痛を与えたり、職場環境を悪化させたりすること。
- ・ セクハラ（セクシャルハラスメント）・・・職場などにおいて、性的な発言や行為によって相手が不快感を抱いたり、不利益を受けたりするなど就業環境が害されること。
- ・ モラハラ（モラルハラスメント）・・・言葉や態度・身振りなどによって、相手の人格や尊厳を傷つけたり、肉体的・精神的に苦痛を与えること。
- ・ マタハラ（マタニティハラスメント）・・・妊娠・出産・育児休業等を理由として嫌がらせを行ったり、また不利益となる発言を行うなど、就業環境を悪化させること。